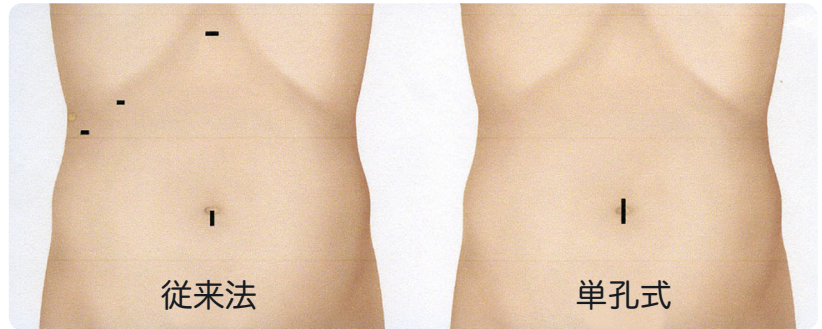


単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術

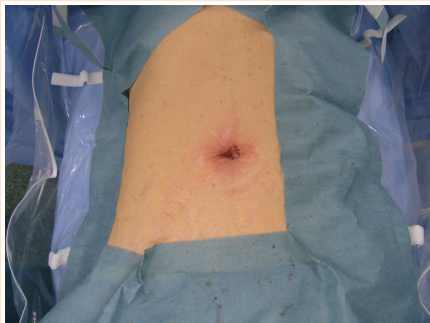
—おへソの中のキズだけで胆嚢(たんのう)を摘出する！—

胆石とは

胆嚢は肝臓で作られた胆汁という消化液がたまる数cm大の袋で、食事をすると胆嚢が縮んで胆汁が十二指腸に流れます。胆嚢にはいろいろな原因で石ができることがあり、この石を胆石といいます。胆嚢が縮んだ時に、胆石が胆嚢の出口にはまって胆汁が流れなくなると、お腹が痛くなったりします。



手術風景:すべての手術器具がおへソから入っています。



手術終了時の腹部:キズはおへソの中にしかありません。

胆石の治療法

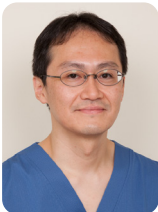
痛みなどの症状のない胆石の多くは、放置しても問題はありません。胆石に対する治療法はいろいろありますが、根本的な治療法は手術で胆嚢を摘出することです。

よく、「胆石だけを取り出すんじゃないのですか?」と患者さんに聞かれますが、胆嚢が残っているとまた胆石ができる、ということが150年も前に証明されています。胆嚢がなくなっても、「胆嚢がない」ということを自覚する症状はありません。ごく稀に、便が軟らかくなる方がいるくらいです。

手術は腹腔鏡というお腹の中を見る内視鏡を使いますが、一般的には上図の左のように4か所のキズが必要です。技術の改良によって、最近では図の右のようにおへソの中のキズだけで手術ができるようになってきました。キズが一つしかないため、単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術やSILS(Single Incision Laparoscopic Surgery)などと言われています。美容的な意味では、究極の手術術式と言えるかもしれません。

当院の手術

当院では20年にわたって、約1000名の患者さんに腹腔鏡下手術を行っています。この単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術は2年ほど前から開始して、すでに数十名の患者さんに行いました。この手術ではキズがおへソの中にしかないため、手術後にお腹を見るとどこにもキズがないように見えるくらいです。また、キズが一つしかないため術後の痛みも軽くなります。



外科部長

川口 米栄

社団法人日本外科学会認定
外科専門医
東京大学1987年卒業

この単孔式手術はすべての手術器具が同じキズからお腹の中に入るため、手術操作はかなり難しいものになります。内視鏡外科学会では、この手術は熟練した医師と施設で行うようにとの勧告を出しているくらいです。当院では20年にわたって、腹腔鏡下手術の技術の向上改良に努めてきました。

また、日本胆道学会のホームページに記載されているとおり、当院は日本胆道学会認定施設になっております。千葉県での同学会認定施設は10施設のみです。

ご自分やご家族、お知り合いなど胆石でお困りの方は、ぜひ当院外科にご相談ください。

ご予約方法

電話予約 **04-7123-5901**

月曜日～土曜日 9:00～16:00 ただし、祝日および病院指定休診日を除く


kikkoman

キッコマン総合病院

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100
電話04(7123)5911(代) FAX 04(7123)5920
<http://hospital.kikkoman.co.jp/>